

岩国市民憲章(素案)に関する御意見及び市の考え方について

市民憲章に最もふさわしいと思う素案		計
案1	20人	76人
案2	34人	
案3	19人	
該当無し	3人	

案1を選んだ人の御意見(要旨)

該当項目	修正案	市の考え方
本文 若々しく	本文 わくわくする 又は、ワクワクする	たくさんの貴重な御意見・御提言ありがとうございました。 皆様から寄せられた御意見等は岩国市民憲章検討委員会(以下「委員会」という。)に報告させていただきましたが、委員会で審議・検討した結果、パブリックコメントで最もふさわしいという意見の多かった案2を基本にして作成いたしました。 なお、案2の修正に当たり参考にさせていただきました。
本文 ― (い) いたわり合い 笑顔あふれる <u>希望のまちをつくります</u> ― (わ) 若々しく <u>活気あふれる</u> 元気なまちをつくります ― (く) 工夫と創造で 愛すべき みんなのまちをつくります ― (に) にぎわいと <u>つながり</u> で心豊かなまちをつくります ― (し) 自然を愛し 緑豊かな <u>美しいまちをつくります</u>	本文 ― (い) いたわり合い 笑顔あふれるまちをつくります ― (わ) 若々しく <u>活気ある</u> 元気なまちをつくります ― (く) 工夫と創造で 愛すべき みんなのまちをつくります ― (に) にぎわいと <u>助け合い</u> で心豊かなまちをつくります ― (し) 自然を愛し 緑豊かな <u>まちをつくります</u>	
前文 ……次のことを誓います。 本文 ― (い) いたわり合い 笑顔あふれる <u>希望のまちをつくります</u> ― (わ) 若々しく 活気あふれる <u>元気なまちをつくります</u> ― (く) 工夫と創造で 愛すべき <u>みんなのまちをつくります</u> ― (に) にぎわいと <u>つながり</u> で <u>心豊かなまちをつくります</u> ― (し) 自然を愛し 緑豊かな <u>美しいまちをつくります</u>	前文 ……この市民憲章を定めます。 本文 ― (い) いわくには、健康で笑顔あふれる豊かな町にいたします ― (わ) 若者も老人も活気あふれる <u>住みよい町にいたします</u> ― (く) 工夫をこらして、皆んなが集まる町にいたします ― (に) 日本一番の住んで見たい笑顔の町にいたします ― (し) 自然を守り、緑豊かな <u>みんなの町にいたします</u> 岩国よいとこ。皆んな来なしゃんれ。	
本文 ― (い) いたわり合い 笑顔あふれる <u>希望のまちをつくります</u> ― (わ) 若々しく 活気あふれる <u>元気なまちをつくります</u> ― (く) 工夫と創造で 愛すべき <u>みんなのまちをつくります</u> ― (に) にぎわいと <u>つながり</u> で <u>心豊かなまちをつくります</u> ― (し) 自然を愛し 緑豊かな <u>美しいまちをつくります</u>	本文 ― (い) いたわり合い 笑顔が <u>あふれる</u> <u>明るいまちをつくります</u> ― (わ) 若々しく <u>活気があふれる</u> <u>まちをつくります</u> ― (く) 工夫と創造で <u>誇りと自信があふれる</u> <u>まちをつくります</u> ― (に) にぎわいと <u>世界とつながる</u> <u>友情があふれる</u> <u>まちをつくります</u> ― (し) 自然を愛し <u>緑があふれる</u> <u>美しいまちをつくります</u>	

”あふれるまち”に統一し、基地文化を肯定して世界の中のイワクニを表現した。 水清き錦川を子々孫々に伝承する自然の緑は必要不可欠である。 憲章は市民に強制するものではなく、5つの項目の中で1つでも同意される市民がいたとしたら憲章の役割は果たしていると考ええる。	たくさんの貴重な御意見・御提言ありがとうございました。 皆様から寄せられた御意見等は委員会に報告させていただきましたが、委員会で審議・検討した結果、パブリックコメントで最もふさわしいという意見の多かった案2を基本にして作成いたしました。 なお、案2の修正に当たり参考にさせていただきました。
その他御意見	
新しい岩国の地域性を想起できる名物、産品などを盛り込むべき。 「岩国」を外すと日本国内のどこにでもありそう。各地域のキーワードを持ち寄って検討すべき。	
5項目の憲章は(い)(わ)(く)(に)(し)と入ってスマートで覚えやすいが、前文は案2が良い。 前文には「錦川」「錦帯橋」と地域固有の名称が入っており、他の河川流域住民にはなじみなく反って不満が生じる。絶対に挿入しないでほしい。	
合併による新しい岩国市を前面に打ち出してほしい。市民が10万人から14万人に拡大した事由を明確に表現して個々の条文を市民一人一人が自覚を持てていただく事が望ましい。旧岩国市を強調しすぎていると思う。 特に何々を作りますだけでは自己満足に過ぎないと思う。今、人間社会、老人社会を含めて人間味のある表現と、行政は具体的な事案を作り実行して実りのある岩国市を目指して欲しい。	
早く世界遺産にさせていただくためにもと思い案1を選んだ。	
文章が読みやすく、ス～と入って来る。岩国市の自然・文化・伝統について書かれていて、全体的に普遍的な内容で分かりやすい。	
前文に、世界に誇る「錦帯橋」が入っている。 本文に、(い)(わ)(く)(に)(し)が冒頭に入っているのが覚えやすく、唱和しやすい。	
内容がすっきりしていて素直だし構成が良い。 市民の誰にも受け入れ易い内容でよいと思う。	
岩国市の頭文字から始まるアイデア好感がもてる覚えやすい市民憲章だと思う。	
簡潔明瞭で身近な憲章を感じる。	
案1も案2も案3もみなすばらしいが、案1が特に良かったと思う。い・わ・く・に・し と韻をふんでいるのが素晴らしいと感心した。	
これからグローバルな世の中になるので、岩国市は名所・旧跡が多く、アジアやアメリカをはじめ、多くの外国人が訪れると思うので、国際都市岩国をめざしていったら良いと思う。	
(わ) 大企業を中心に、その協力企業に若者の就職に力をいれ、市内住民の経済力をアップし、市内の商業施設での購買力を高める。	

案2を選んだ人の御意見

該当項目	修正案	市の考え方
「大切にしたいもの」の文末	「命」した方が良いのではないかと 思う。	御提案を採用させていただき、「命」としました。
守りたいもの それは ……	「それは」を「:」する。文章が長すぎるのでは。	本文を詩的に表現し、唱和のしやすさ、リズムを大事にして作成しました。
「前文」 私達は… 豊かな海に… 「本文」 …人の和	「前文」 わたくしたちは… 豊かな海など自然に… 「本文」 …人の輪	「前文」 世界遺産登録を目指す名勝「錦帯橋」は、岩国を代表するものとして、前文に挿入するとともに小・中学生へのアンケート及びパブリックコメントの御意見等を参考にし、委員会において、大きく見直しました。 「私達」は「わたしたち」、「わたくしたち」とも読むことができますので、ひらがなにし、「わたしたち」としました。 「本文」 「和」は、「心が和む」と「連帯の輪」を掛けています。
前文	緑の山、清らかな流れ、豊かな海に恵まれたこの岩国 この郷土に誇りをもって、世代を超えて助け合い、安心して暮らせるまちづくりをめざしてこの憲章を定めます。	世界遺産登録を目指す名勝「錦帯橋」は、岩国を代表するものとして、前文に挿入するとともに小・中学生へのアンケート及びパブリックコメントの御意見等を参考にし、委員会において、大きく見直しました。
前文 「多くの優れた先人を生み出した郷土に誇りをもって」	「多くの偉業を成し遂げた先人たちのいる郷土に誇りをもって」にする。 「偉業を成し遂げた先人」でなければ、市民を「差別する」ことにつながりかねないと思う。	
本文	文の最後に「です」をつけた方が、よく訴える力(使命感が強まる)が入ると思う。特に学校などで唱和させる時、効果があると思う。	本文を詩的に表現し、唱和のしやすさ、リズムを大事にして作成しました。
守りたいもの それは豊かで美しい自然	守りたいもの それは心豊かで美しい自然 案2が良いと思われるのは、冒頭の文章に特定の名称の無いから。	守りたいものは「自然」をテーマにしています。

守りたいもの 広げたいもの 伝えたいもの 創りたいもの 大切にしたいもの	守りたいね 広げたいよ 伝えたいね 創りたいよ 大切にしたいなあ 案1、案3は、どこの町でも見かけるように少し新鮮味にかけます。案2は、各下段の「それは…」に続く文句は必ずしもこれだけではなく、言葉の広がりを感じることも出来る。文末を「ね」と「よ」に交互にしたら親しみがわく。そして最後に「なあ」	子ども市民憲章であれば、語尾を御指摘のようにすると親しみやすいですが、老若男女を含め、広く市民に市民憲章を唱和していただくためには唱和のしやすさ、リズムが大事だと思いますので、末尾は「もの」とします。
守りたいもの それは豊かで美しい自然	守りたいもの それは錦帯橋に象徴される豊かで美しい自然 岩国と言えば、必ず錦帯橋を思い出す。岩国の誇りでもある錦帯橋をどこかに入れてほしい。	御提案を一部採用させていただき、前文に「錦帯橋に象徴される美しいまち岩国」を入れました。
案1、案3の本文 …海に囲まれた…	基本的な誤り。(海に面している)	御意見ありがとうございました。委員会で審議・検討した結果、案2を基本として作成いたしました。 世界遺産登録を目指す名勝「錦帯橋」は、岩国を代表するものとして、前文に挿入するとともに小・中学生へのアンケート及びパブリックコメントの御意見等を参考にし、委員会において、大きく見直しました。
案2の前文 清らかな流れ	清らかな錦川(固有名詞をせめて入れてほしい)	「郷土の歴史と文化に学び」の意を含め、「ふるさとが育てた偉人に学び」としました。
案2の前文 郷土に誇りを持って	誇りをもつ為には郷土の歴史や文化伝統を知る学びが必要。案3の教養を高めるとい意を汲んで「郷土の歴史と文化に学び」としたらいのでは。	
案3の本文 教養を高め…	この言葉は案3にのみ使われている。これは案2の郷土に誇りをもつ為に大切なことだが、文章のつながりとしては「郷土の歴史と文化に学び」ということばにおきかえる方がわかり易いと思う。 3案ともどこの街にも該当するような文言が並んでおり、寄せ集めの文章という印象で訴える力が無いように思う。 憲章といものは、ある程度格調のあるものが求められる。案2を選んだのは、誤りが一応見当たらず、分かり易く短いから。	

その他御意見	市の考え方
「感謝」ということばは、思う人の心を静かにさせてくれると思うので、入れてほしい。	感謝の気持ちを持つことは心を豊かにし、穏かにすると思います。市民憲章に「感謝」という言葉は入っていませんが、市民一人一人がそれぞれの思いを抱きながら唱和してほしいと願っています。
案1、案3は、どこの市町村にもある形態。案2はあまり例がなく、新しい岩国市らしくて良いと思うが、唱和するには少しことば足らずのような気がする。最後の大切にしたいもの命にすべての生き物の意が入るともつと良いと思う。 本文 守りたいもの それは <u>豊かな 光あふれる 美しい自然</u> 広げたいもの それは <u>世代や地域を超えた人と人との和</u> 伝えたいもの それは <u>歴史や伝統 文化の薫</u> 創りたいもの それは <u>笑顔と活気あふれる楽しい社会</u> 大切にしたいもの それは <u>みんなの夢とみんなの命</u>	本文を詩的に表現し、唱和のしやすさ、リズムを大事にしています。 「守りたいもの それは豊かで美しい自然」には、自然の中に生息する生き物の命の意も含まれています。
市民憲章は、主に各団体の唱和に使われているだけのように思う。幼い頃から郷土愛を育む為にも学校の朝礼等に使われる事を望む。この文章はやさしさを感じ、この市に移り住んでも覚えやすい文章だと思う。	市民憲章は制定して終わりではなく、唱和し、実行して初めてその役目が果たされるものであると考えております。
内容はよいと思うが言いはじめを見直してほしい。 守りたいもの <u>それは……</u>	本文を詩的に表現し、唱和のしやすさ、リズムを大事にして作成しました。
本文のどこかに「岩国」が入っていたらと思う。	御提案を採用させていただき、創りたいものの「それは岩国の輝かしい未来」といたしました。
「伝えたいもの」きれいな事ばかりでなく戦前戦後の岩国の状況も知ると良い。	一人一人「伝えたいもの」の「歴史」は違って良いと考えております。
8地域の方達が、安心して唱えられる気がする。 すべての会合で『町民憲章唱和』で開会式が始まった頃のことを思い出し、間もなく決定することを知り、感慨無量。ずらずら話せて、わかりやすいことが大切だと思う。	本文を詩的に表現し、唱和のしやすさ、リズムを大事にして作成しました。
「伝統」の言葉は使用しないこと。一言に「伝統」というが、この言葉はとてもむづかしい。意味が深く何を指すかに見解も分かれ易い。誤解や間違いを生む。単なる守旧との反発もある言葉にもなる。 暗記して自然に口に出るよう多くの言葉を捨てて直髓だけを残すこと。簡略にすること。覚えられるところまで縮める。 案1について、岩国市の川は「錦川」だけを誇りとすべきではない。	御意見ありがとうございます。委員会では審議・検討した結果、案2を基本として作成いたしました。また、「伝統」という言葉の意味は市民一人一人の自由で豊かな想像に委ねたいと考えております。

案3を選んだ人の御意見

該当項目	修正案	市の考え方
前文 わたくしたちは、<u>緑いっぱい</u>の山、<u>かがやく清流</u>、<u>恵み豊かな海</u>に<u>囲まれた岩国市</u>に住むしあわせに感謝します。<u>多くの偉人を育てたこの地</u>に誇りをもち、<u>長い歴史と文化をつむぐふるさとを愛し、教養を高め、活気あふれる岩国市</u>を次の世代に引き継ぐために、この市民憲章を定めます。	前文 わたくしたちは、<u>緑の山</u>、<u>清らかな流れ</u>、<u>豊かな海</u>に<u>恵まれた岩国市</u>に住むしあわせに感謝します。<u>多くの優れた先人を生み長い歴史と文化に育まれた郷土</u>に誇りをもち、<u>世代を超えて助け合い、安心して暮らせる活気あふれるまちづくり</u>をめざして、この憲章を定めます。	たくさんの貴重な御意見・御提言ありがとうございました。皆様から寄せられた御意見等は委員会に報告させていただきましたが、委員会で審議・検討した結果、パブリックコメントで最もふさわしいという意見の多かった案2を基本にして作成いたしました。なお、案2の修正に当たり参考にさせていただきました。
前文 わたくしたちは、<u>緑いっぱい</u>の山、<u>かがやく清流</u>、<u>恵み豊かな海</u>に<u>囲まれた岩国市</u>に住むしあわせに感謝します。<u>多くの偉人を育てたこの地</u>に誇りをもち、<u>長い歴史と文化をつむぐふるさとを愛し、教養を高め、活気あふれる岩国市</u>を次の世代に引き継ぐために、この市民憲章を定めます。	前文 わたくしたちは、<u>緑いっぱい</u>の山、<u>かがやく清流</u>、<u>恵み豊かな海</u>に<u>囲まれた岩国の自然</u>に感謝し、<u>長い歴史と文化をつむぐふるさとを愛します</u>。<u>多くの偉人を育てたこの地</u>に誇りを持って、<u>教養を高め、活気ある岩国市</u>を次の世代に引き継ぐために、この市民憲章を定めます。 案3の前文には「感謝」という言葉と、「教養を高め」という言葉が入っている。謙虚な気持ちと市民の気持ちを高める誇りのもてる言葉を入れることは大切だと思う。 案2も解かりやすくして良いかと思うが、前文だけは案3がいい。 案3の原文では、教養を高めが少し浮いているようなので、多くの偉人を育てたの後に持ってきてはどうか。	
― <u>子どもと若者を大切に</u>して <u>岩国の未来をたくし</u>ます ― <u>市民みんなが</u>いたわりあって <u>住みよいまち</u>をつくれます	― <u>おとしよりを大切に</u>して <u>子ども若者に岩国市</u>の未来をたくし ― <u>市民みんなが</u>いたわりあって <u>住みたいまち</u>をつくれます	
― <u>子どもと若者を大切に</u>して <u>岩国の未来をたくし</u>ます	― <u>子どもと若者と老人を大切に</u>して <u>岩国の未来を切り開</u>きます	
本文5行目 ― <u>市民みんなが</u>いたわりあって <u>住みよいまち</u>をつくれます	次に変更し本文1行目へ ― <u>礼儀正しくきまりを守り</u> <u>住みよいまち</u>をつくれます 小さなきまりも守らない社会になってきており、この憲章は是非必要と思う。 「案1」…錦川とあるが岩国市には県境に小瀬川もあり、入れるべきではない。	

その他御意見	市の考え方
どの案も、笑顔、元気で明るい、いたわりあい、などどれもいいことだが、全体として情緒に流れすぎている感がある。これから大変なことも多いので市民ひとり一人の責任に対する自覚も大切である。 追加案 「岩国市民であることに誇りと責任を自覚します」を提案する。 また、 ・「子どもと若者を大切に…」を「世代をこえて手を携え、若者に未来を託します」とする ・「笑顔と親切…」、「元気で明るいまち」、「いたわりあって住みよいまち」など何とか纏まらないか。	たくさんの貴重な御意見・御提言ありがとうございました。 皆様から寄せられた御意見等は委員会に報告させていただきましたが、委員会で審議・検討した結果、パブリックコメントで最もふさわしいという意見の多かった案2を基本にして作成いたしました。 なお、案2の修正に当たり参考にさせていただきました。
基本的な問題として 市民が求める基本テーマは「住みよい岩国市」ではないか？そのために市民1人ひとりが何を申し合わせるか、という視点が必要。 岩国市は広域合併で山間部が非常に多い。「まち」という表現は山間部に居住する方々にはピンとこないのではないかな。 3案とも、もっとシンプルにならないか。例えば、案1の前文は最後の1行だけで良いと思う。	
「岩国市民憲章」には賛成。バランスのとれた元氣良く未来へ向かっていくものに出来たらすごく良い事だと思う。あとは、沢山の市民に届くように。 前文 「長い歴史と文化をつむぐふるさとを愛し、教養を高め、」私はこの部分がすごく大切だと思う。「ふるさとを愛する心」は、小さい単位で申し上げれば、親、子供、隣人、町市と言える。わが街を愛する事はこの時代に特に意識してでも必要だと感じる。。街づくりをする故でも街に誇りを持ち街づくりに役立ち広げる岩国の発展には欠かせない。また、「教養を高め」勉強は机の上だけではない。自分の街や人物、風土を知ること。知る事はより大事である。狭い範囲にとらわれず、見聞を広げること。教養は絶対必要で、体に栄養、心に教養は大切なことだと思う。	
「歴史と伝統が息づくまちに 岩国の文化を育てます」 歴史と文化を守るために小中学校で十分教育してほしい。岩国に育って誇りを持つ様、教育してほしい。岩国を詠んだ歌(万葉集)を暗唱させてほしい。碑を建立してほしい。歴史はお金で買えないものであるから。	
「子どもと若者を大切にして岩国の未来をたくします」 この世に生を受け長生きできたのも戦中、戦後地域の方々に支えて頂いた事を感謝しこの項目に賛成する。	
とてもやさしく、言葉も大きな声で読んでとても分かりやすく読みやすいと思う。	
素晴らしい案だと思った。心洗われる思いである。	
読んで見てとてもわかりやすく、私達の年をとった人にとって、これからの未来に楽しく明るい気持ちになる。	
「子どもと若者を大切にして 岩国の未来をたくします」 わかりやすい。	

案1について フレーズの(いわくに)は憲章の重みを損なう。軽々しくまた無理矢理言葉遊びをしている。 案2について 文案の広げたいもので(地域を超えた人の和)とはどのような意味か解釈に苦しむ。不適當。 案3について 文案は市民の理想であり願いでもある。文語も馴染みがあって大へん良い。暗唱しやすいと思う。	貴重な御意見・御提言ありがとうございました。皆様から寄せられた御意見等は委員会に報告させていただきましたが、委員会で審議・検討した結果、パブリックコメントで最もふさわしいという意見の多かった案2を基本にして作成いたしました。なお、案2の修正に当たり参考にさせていただきました。
--	---

該当無しの人の御意見

御意見		市の考え方
案1(希望・元気・みんなの・心豊かな・美しい)	まち創りを別けると弱いインパクトとなる。	たくさんの貴重な御意見・御提言ありがとうございました。皆様から寄せられた御意見等は委員会に報告させていただきましたが、委員会で審議・検討した結果、パブリックコメントで最もふさわしいという意見の多かった案2を基本にして作成いたしました。なお、案2の修正に当たり参考にさせていただきました。
案2(全体的に小学生の質問事項の感)	憲章としては相応しくないのでは。	
案3(自然にはやさしさ…)	表現としては余り使わない。	
案3(働く意欲に満ちた…)	市民の意欲がなく聞こえるし、意欲があっても働ける企業、場所がない。	
案3(子供と若者を大切に…)	老人を差別化して聞こえる。	
案3(歴史と伝統が…)	憲章としては相応しい。	
案3(市民みんながいたわりあって…)	すでに老いたまちのイメージで勢いがない。 町村合併のとき(岩国町村合併調査検討協議会)の中で将来像を実現するため6つの基本目標と、この度の憲章との関係は如何に？ むしろ今回出された憲章案は調査検討協議会でだされた基本目標に集約されていると思うが。 従って合併調査会で出された6つの基本目標を憲章とした方が良いと思う。	